



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204  
ホームページ [www.icp-isesaki.net/](http://www.icp-isesaki.net/) メールアドレス [sigidan@icp-isesaki.net](mailto:sigidan@icp-isesaki.net)

## 第3子以降給食費助成実現、出産祝い金削減否決！

定例会が2月19日から3月19日まで開かれ、北島元雄市議が消費税増税の影響など一般会計予算質疑、長谷田公子市議が障害者雇用など一般質問を行いました。

### 3人目の助成が2つあっていいのか

昨年の市議選挙で共産党議員団が訴えた、学校給食費の無料化。条件付きですが第3子以後の助成制度がスタートします。



学校給食費無料化の運動に取り組む新日本婦人の会の支部大会で経過報告する党議員団

しかし市は「第3子に対する助成が2つあっていいのか」などの役所内部の議論があったと、第3子出産祝い金(10万円)を削減して給食費助成に充てる議案を議会に提案しました。

審議された文教福祉委員会では北島元雄議員だけが子育て支援に逆行すると主張し反対。他の5人の賛成で、廃止案は可決されました。

### 一転して否決へ

その後、本会議に「削

減には賛成だが、経過措置として3月末までに妊娠届を出した人等には支給を」という修正案が出されました。

長谷田議員は「廃止が前提では修正案にも賛成できない、廃止案にも修正案にも反対」と、討論を行いました。

採決の結果修正案は否決され、市長提案の廃止案も馬庭議員・多田議員2人のみが賛成。出産祝い金廃止の市長提案は、委員会で賛成した議員も含め、反対多数で否決されました。

市長提案が否決されたのは合併後初めてのことで、党議員団の議会で論戦と「給食費無料の財源に「出産祝い金廃止など」でもない」との市民世論の高まりが、市政を変える力となりました。

共産党議員団は、こ

れからも学校給食費の完全無料化を目指し国や県への働きかけを含め、多くの皆さんと運動を進めていきます。

### ◆給食費助成

- ・同時に小・中・支援校に通っている第3子以降
- ・世帯所得600万円以下
- ・給食費を完納し翌年4月に給食費額を助成
- ・対象は500人程度
- ・予算2千万円

(所得制限は伊勢崎のみ。前橋・伊勢崎以外は3人以上扶養していれば上が高校生になっても支給)

### ◆第3子出産祝い金

- ・住民登録6か月以上経過
- ・18歳以下の子どもを2人養育し3人目以降を出産
- ・支給額10万円
- ・18年度予算額 3千万円

※出産祝い金は3千万円、給食費助成は2千万円です。市は、1千万円も子育て支援の予算を削減しようとしたのです。